



アイテム しごとと探検隊

24th

アイテムしごと探検隊は「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。
実際の職場に足を運び、そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の訪問先 **GRANADA SUITE** (グラナダ スイート)

●隊員紹介(あいうえお順)●

石田さん(5年生) 上田さん(6年生) 小嶋さん(5年生) 小嶋さん(6年生) 斉藤さん(6年生)
佐々木さん(6年生) 鈴木さん(5年生) 鈴木さん(6年生) 田村さん(5年生) 中台さん(5年生)
中村さん(5年生) 中村さん(6年生) 西くん(5年生) 淵野くん(6年生) 丸山くん(5年生)
丸山さん(5年生) 三浦さん(5年生) 皆川さん(6年生) 横山さん(6年生) 渡辺さん(6年生)

今回の探検先は…

GRANADA SUITE (グラナダ スイート)

株式会社ポジティブドリームパーソンズが運営する、代官山駅から徒歩5分の場所にたたくむゲストハウス。自然光が降り注ぐチャペルや吹き抜けの中庭が併設されており、新郎新婦の邸宅のように自由に過ごすことができる結婚式会場。2012年2月で8年目を迎え、上質な空間と行き届いたホスピタリティを重視した、大人の結婚式を提供している。

●探検実施日:2012年8月20日(月)

おしゃれなゲストハウスを探検

今回の「アイテムしごと探検隊」の行き先は、結婚式を行うゲストハウス「GRANADA SUITE (グラナダスイート)」。代官山にある地下1階地上2階建ての邸宅だ。探検隊に選ばれた小学5・6年生20名を、光が降り注ぐ広いエントランスでスタッフが出迎えてくれた。階段を下りて、地下1階のバンケットへ。白いクロスのかかった丸テーブルが並ぶ。



キッチンスタッフの技に感動

「C班には、ケーキの飾りつけをしてみたいですよ」という言葉に、大喜びの子どもたち。チョココレートペンでクッキーに文字を書いたり、くだものを飾ったり…。みんな日ごろからケーキ作りをしているというだけあって、キッチンスタッフからは「なかなか上手ですね」という褒めの言葉も。でも、スタップのナイフさばきには到底及ばない。準備されていたフルーツの飾り切りには一同ため息。「やっぱりプロはスゴイ！」



オリジナルドリンクづくりに挑戦

D班は、サービス担当のスタッフと一緒にオリジナルドリンクづくりに挑戦。数種類のドリンクを、各自のセンスで混ぜてみた。コーラとパイナップルジュースを混ぜたメンバーは、味見をした途端、悲鳴のような声。難しさを実感した子どもたちに教え



「ジュースとジュースの相性だけでなく、飲み物と一緒に召し上がった際の料理やデザートとの相性も踏まえて、どんな組み合わせがいいか考えていくんだよ」

まずはビデオで勉強

「結婚式に出たことはありませんか?」グラナダスイートの椎谷さんに聞かれて、手をあげた子どもはわずか数人。結婚式の様子をビデオで見て、イメージトレーニングをする。真剣に見入る子どもたちの顔に時々笑みが浮かぶ。ウエディングプランナーの益田さんが説明してくれた。



心配り満載のブーケ作り

A班がまかされたのは、新婦の持つブーケと新郎の胸にさすブートニアを作ること。ブーケは新婦が直接手で触れるので、ケガをしないようバラのトゲを丹念に取り除き、ドレスが汚れないよう水をきちんと切ること

みんなでつくった模擬結婚式

各班的準備が終わったら、全員が建物最上階にあるチャペルに集合。これから模擬結婚式を行うのだ。チャペルでの司会進行役やドアマ、ウエディングドレスの裾を直す



ドキドキ!ワクワク! 結婚式のスタッフを小学生が体験。

が大切なのだそう。こうした細かな心配りをした上で、一本一本のバラにピンクのリボンを結ぶ。最後に、20本を束ねてひとつのブーケができ上がる。子どもたちから小さな歓声があがった。

花嫁の介添え役に緊張

B班の仕事は、新婦に付き添うアテンド役。本来は、プロの美容スタッフが担当する役割だ。2階にある新郎新婦の控室には鏡台やソファが置かれていた。鏡の前に座っている新婦に、子どもたちが順にアクセサリやブーケ、白いグローブを付けていく。

「きれいな花嫁さんのそばにいたいだけで、緊張しちゃいました。でもとっても楽しかった!」

「ありがとう」が仕事のチカラに

最後は、子どもたちからの質問に益田さんが答えてくれた。「ウエディングプランナーをしていて一番うれしいのは、新郎新婦のお2人に『ありがとう』と言ってもらえること。将来プランナーになりたいと思っている人は、誰かのために何かをしてあげたいという気持ちを大切に、いろいろな人と関わってくださいなね」

おしゃれなゲストハウスでのしごと探検。子どもたちはドキドキワクワクの体験を通して、プロフェッショナルな心配りやキラリと光る技を感じたようだ。



感想コーナー

- 全部緊張したけど、いろいろなことが体験できて良かったです。
- 一回の結婚式をするのに、たくさんの方が関わっていて、手間もたくさんかかるんだなあと思いました。
- 人のために心を込めてやっていたので、スゴイと思いました。
- パティシエになるのが夢だったけど、ウエディングプランナーの仕事も素敵だなと思いました。

株式会社ポジティブドリームパーソンズ GRANADA SUITE(グラナダ スイート)

バンケットプランナー 椎谷 さやかさん

結婚式は、新郎新婦はもちろん、そのご家族やゲストにとって一生に一度きりの大切な日です。この日をいかに感動に満ちあふれた日にするか私たちの仕事です。今回、子どもたちにはテレビや映画で見る結婚式の表舞台だけではなく、プロとして働くことの難しさや厳しさ、そして喜びといった「働きたい」と感じていました。短い時間の中で、シェフの仕事に目を輝かせ、真剣な表情で新婦のアテンドや挙式の司会などに挑み、私たちが想像していた以上に多くのことを感じ、成長していく子どもたちの姿がとても印象的な一日でした。

●「アイテムしごと探検隊」ご協力をお願い
訪問先としてご協力いただける企業・団体を募集しています。子どもたちが「仕事」について考える機会を一緒に提供していただけないか? お問い合わせはアイテムまで ☎0120-938-989